父の教え、母の勘

　　「食うものはケチるな」。結婚式の当日家を出る前に父は私にこう言った。「贅沢をせよということではない、を食うならサンマを食え、一枚十円のを半分食うなら五円の海苔を一枚食え、身を飾り医者に払う金がない様な経済のやり方をするな」。最後に一言、「体を大事にな」。この言葉は振り返って人生の指針であった。

　父の忌やコスモス好きと言ひしこと

　俳句、十三回忌によせて。

　親に勧められるままに或る日私は見合いをした。その帰り袋井駅のホームで母は私に言った。「あの人はどんな時にも女房と子供を泣かす様なことは決してしない」と。私は、「初めての人にどうしてそんな事わかる」と聞き返した。母は、「それは親の勘でわかる」と言った。全然その気のなかった私はその一言で気が変わった。母の勘は当たっていた。

　やを見ぬきし母の勘

応募時（静岡県67歳）　髙田森子